

北海道最低賃金 10月1日40円の引き上げ 960円に!

有期・短時間・契約等で働く人が
安心して生活できる最低賃金水準を!

誰もが時給1,000円へ!

連合北海道・連合石狩地域協議会



北海道最低賃金額の推移(過去5年間)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
最低賃金額	861円	861円	889円	920円	960円
対前年引上額	26円	—	28円	31円	40円
対前年引上率	3.11%	—	3.25%	3.49%	4.35%

10月1日から北海道最低賃金が現行から40円引き上げ960円に改定されます。過去最大の引き上げは「誰もが時給1,000円」となる社会の実現に向けた第一歩となり、全労働者の2割を超える方々の賃金が改善されることは評価できるものです。しかし、消費者物価の高騰は、我々労働者の生活に大きく影響しており、切り詰めることが出来ない生活必需品の上昇は、働く者の生活を圧迫しています。過去最大の引き上げ額となったことは評価するものの、ナショナルミニマム水準として十分とは言えません。

一方で、中小企業や小規模事業者が、継続的に賃金を引き上げるための環境整備も重要です。

引き続き連合は、改正された最低賃金の履行確保、法令遵守、労働者が安心して生活ができる社会の実現、更には社会全体の賃金の引き上げにむけて、企業における各種助成制度の活用が拡大するためのさらなる情報発信や制度の見直しなどを求めるとともに、特定(産別)最低賃金の引き上げについても全力で取り組みます。

連合北海道札幌地区連合会ホームページ

労働相談ホットライン
フリーダイヤル いこうよ れんごうに
☎ 0120-154-052

QRコードで速報をチェック!

<https://rengo-sapporo.jp/>

札幌れんごう

札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろウビル2階
編集発行人 野宮 佳則 ☎210-0505

2023年10月5日 462号
連合北海道札幌地区連合会

さっぽろ政策要求2024 新年度予算編成へ向け、 札幌市へ政策要求を提出

9/14



高騰は生活に大きな影響を及ぼしている」として、市民が安心して暮らしていける社会の実現を求めました。

要求書を受け取った秋元市長は「働く方々の声として貴重な意見を頂戴した」として各部署で協議を行っていききたいと挨拶。その後、吉田事務局長から要求趣旨について説明をしたのち、除排雪や学校におけるエアコン設置など要求課題について参加者と意見交換を行いました。

現下の物価高騰は くらしを直撃

今春の春季生活闘争では、これまでにない賃上げの成果を引き出し、改定された道内地域最低賃金も40円アップの960円となるなど「底上げ」「底支え」の流れが進む一方、目下の物価高・円安が、働く者・生活者の日々の

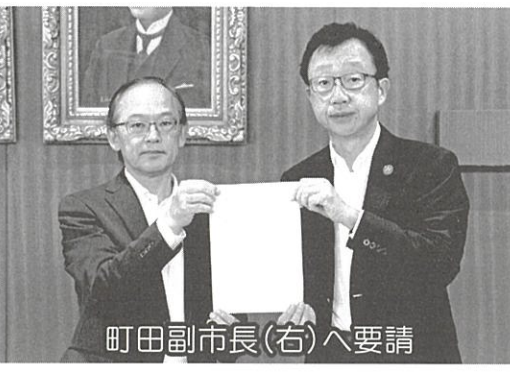
政策要求は札幌地区連合ホームページでもご覧いただけます

くらしを直撃し、物価の上昇が賃金上昇分に追いついていない状況となっています。とりわけ、エネルギー価格の高騰は、これから厳しい冬を迎える上での市民生活に大きな影響を及ぼしており、要求書では、積雪寒冷地に暮らす市民の生活を踏まえ、石油価格高騰の抑制・安定に向け、積雪寒冷地の地域特性を考慮した対策を国に対し要請するよう求めています。



丘珠駐屯地 「へり発着基盤」に 日米共同訓練を実施

9/14~23



9月14~23日の間、日米両部隊で約3,500人が参加する日米共同訓練「オリエント・シールド23」が実施され、道内では、矢白別演習場での米陸軍高機動ロケット砲システム「ハイマース」の実弾射撃をはじめとした実動訓練と、陸上自衛隊丘珠駐屯地が米陸軍ヘリ「UH-60」の発着基盤として使用されました。

訓練概要が明らかとなったことから札幌地区連合は、9月6日(水)

札幌市に対し、日米共同訓練の規模縮小と丘珠駐屯地の訓練使用の中止を求める緊急の要請を実施し、札幌市町田副市長に要請書を提出しました。

訓練使用の常態化に 懸念

丘珠駐屯地は住宅街が近接しており、昨秋の日米共同訓練で「オスプレイ」等のへり発着基盤としての使用を公表した段階でも、札幌地区連合は、札幌市に対し日米共同訓練の規模縮小を求める緊急要請を実施しており、昨年引き続く丘珠駐屯地の訓練使用はその常態化を招きかねません。

昨年度の道内での共同訓練は過去10年で最多の4回を数えており、日米共同訓練が、内容・規模・回数ともに年々拡大しているのが実態です。連合北海道も日米共同訓練の規模拡大と急増を容認出来ず、強く反対するものとの事務局長談話を発表しています。